

まじは!!

「世に勝つ者とは」

「世に勝つ者とは誰か。イエスが神の子であると信じる者ではありませんか。」

(ヨハネの手紙一 第5章5節・新約聖書434頁)

はじめに

使徒ヨハネの晩年、目に見えるものを「汚れ」とするグノーシス主義が台頭、主イエスが「人として十字架で贖いの血を流して死んだ」ことが否定されようになりました。主の十字架を見あげながら「よく見て、手で触れた」(1:1)ヨハネは、信仰を惑わす様々な霊(教え)を警戒しつつ、この福音、この真理に生きるために真の礼拝を献げ、神を愛し、御言葉を深く味わって「神を知る」このに心を注ぐべきであること、さらに、あいまいな信仰ではなく、自ら罪深い者であることを認め、同時に罪に汚れた者を救ってくださった主イエスを救い主であると告白していくことの大切さを教えました。そして、信仰を守る戦いがこれからも続くのだと、私たちのこれからの生き様を示していくのです。

私たちの敵はだれか

現代の日本では信教の自由が憲法で保障されています。強制もしてはならないし、政教の分離もうたわれています。ありがたいことですが、反面、自分たちの信仰を損なう者がいないと錯覚してしまう危険があります。聖書は私たちに敵の存在を明確に示しています。その敵は、いつも私たちの信仰をなくそうと働きかけていることを忘れてはなりません。

私たちの信仰を揺るがす存在としてこの世で最も警戒すべき敵は、「告発する者」「告訴する者」サタンです。誰も自分が信仰深いとは思っていません。当然完全だとも考えていません。だからこそ、サタンは重箱の隅をつつくように、

私たちの弱みを「告発」、攻撃してくるのです。私たちを弁護する方

罪状を告発されている私たちは、それをだまって聞いていなければなりません。そして、その告発に反論ができないまま立ち尽くしていると、告発者であるサタンが言うのです。「神を捨て、私の前にひれ伏すならば、あなたは神のようにいろいろなことができるようになる」。主イエスがユダの荒れ野でサタンから誘惑された時と同じ言葉が私たちに向かって発せられるのです。

孤立し、その言葉に屈するしかないのかと思われた時、自分を弁護、執り成す方が現れます。世に勝つ者

この手紙の中で指摘している「世」を具体的に申し上げるなら、まず、「生活に関わる欲望」、次に「神を否定する惑わし」、そして「社会からの偏見」が挙げられています。これらは手を替え品を替えて私たちに迫ってきます。しかし、そこで私たちに付いてくださっている弁護士、執り成しをする方は、それまで私たちが並べ立てられていた罪状書きのすべてを、「それらはすでに清算されたのだ」と宣言してくださり、同時に、世に生きる者が受ける制限の枠を取り除いた生活を保障するのだと、宣言してくださるのです。私たちはこの主イエスが成し遂げられた贖いを信じ、世に勝つ者として歩ませていただきます。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「誰でも、イエスを神の子と告白すれば、その人の内に神はとどまってくださり、その人も神の内にとどまります。私たちは、神が私たちに抱いておくことができます。イエスが天でそうであるように、この世で私たちも、愛の内にあるのです。」(ヨハネの手紙一 4:15 ~ 17)

「口でイエスは主であると告白し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。実に、人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるのです。」(ローマの信徒への手紙 10:9 ~ 10)



「神から生まれた人は皆、世に勝つからです。世に勝つ勝利、それは私たちの信仰です。世に勝つ者とは誰か。イエスが神の子であると信じる者ではありませんか。」(ヨハネの手紙一 5:4 ~ 5)

神さま、いつも私は自分の信仰に自信がなく、自分の罪深さを感じて落ち込んでいます。しかし、主イエスはそのような私を執り成し、弁護士、「その罪は赦されているのだ」とサタンに言ってくださいます。だ

から私はいつでもこのサタンに、この世に勝利することができるのです。感謝します。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ！

箴言 (117) 第5章23節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「論しがないため死に至るが 底知れぬ愚かさに酔いしれている。」

◎口語訳 「彼は、教訓がないために死に、その愚かさの大きいことによって滅びる。」

◎新改訳 「彼は懲らしめがないために死に、その愚かさが大きいためにあやまちを犯す。」

「酔いしれている」

後半の聖句の訳し方が三者三様です。「酔いしれている」は堕落している現在の様子を現しているように受け取れますし、口語訳は「滅びる」として、結論が突きつけられている表現、そして新改訳では「あやまちを犯す」で、まだその状態になっていない、警告の言葉のようにも聞こえます。

このような場合はヘブライ語に当たるしかありません。調べてみると、使用頻度は少なく、「過失を犯す」、「迷わせる」、「さまよう」のような訳され方をしています。この5章では「酔いしれよ」(19)、「酔いしれる」(20)と、この語に関連付けているように連続して使われていることはわかりますが、今ひとつ、すっきり受け取れません。どのような状態を表現しようとしたのか探していると、イザヤ書に「ぶどう酒でよろめき 麦の酒でふらつく」(28:7)という箇所を見つけまし

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ~ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ~ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ~ 31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ~ 24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1 ~ 29:27)
 - c アグルの言葉 (30:1 ~ 33)
 - d レムエルの言葉 (31:1 ~ 31)

た。この箇所だけ、「よろめく」「ふらつく」と訳されていたのです。

酩酊状態で、前後不覚に陥っているのですが、体がふらついているように「幻」も「裁き」もよろめき、ふらついているだらしない状態であることを指摘している預言になっています。

つまり、愚かなことに熱心になり、何が善で何が悪であるのかの判断もできなくなるほどの心の酩酊状態を指していて、このままでは早晚自滅するだろうと誰もが思う状態を表現しようとしたのです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第109編4節「私の愛に反して、彼らは私を訴えます。私は祈るばかりです。」◆ヨブ記を取り上げていた時、ヨブの最大の苦難は友人たちの言葉であつたと解説した。ヨブの友人たちは、「自分は神を信じているのだから、語ることもすべて正しい」との姿勢で接し、ヨブを理解せずに苦しめた。だれもが、「自分は正しい」とし、異を唱える者をさばく。ダビデは様々な者たちに暴言を吐かれた。その者たちは、自分が正しいと思っているからだ。つらい時間を耐えた時、ヨブは友人たちのために祈った、その時、神からの報いがもたらされたことを覚えよ。

●賛美／244 ●祈祷課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第110編1節「主は、私の主に言われた。『私の右に座れ私があなたの敵をあなたの足台とするとときまで。』」◆この詩編は「メシヤ預言」、つまり救い主の出現を預言した内容が含まれているとされる。というのも、主イエスご自身もこの詩編を引用され、「救い主」が自分であることを示唆されているからだ(マタイ22:44)。それだけではなく、ヘブライ人への手紙では大祭司としての主イエスを証明する際にこの箇所が引用されている(1:13など)。主イエスは何千年も前から、私たちのために救いをもたらすため、備えられていたお方である。

●賛美／245 ●祈祷課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第111編1節「ハレルヤ。」◆この詩編から118編まで「ハレルヤ(主をたたえよ)」から始まるため、「ハレルヤ詩編」と呼ばれている。私たちの言葉、祈りが「ハレルヤ」から始められるなら、どんなに幸いであろうか。この詩編でのハレルヤは「主の贖い」である。贖いとは、代価を払って買い戻すとの商売をする時に使われていた言葉で、過去、自分のものであったとしても、他人が所有してしまった場合、その代価を払わなければならない。主は、神の手から離れ、奴隷になっていた私たちを買い戻すべく、命を払ってくださったのだ。ハレルヤ!

●賛美／246 ●祈祷課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
◆宗教法人を取得できるように
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第112編9節「貧しい人々には惜しみなく分け与え その正義はいつまでも続く。彼の角は栄光の中、高く上げられる。」◆神の義とは、曲がったことをお嫌いになるだけのご性質ではない。正しい者に対して、徹底的にあわれみ、弁護し、支え、守ってくださって、悪い者に対して、神に頼る者たちはこのような扱いがなされるのだとの証明をしてくださる行為に対する「正義」である。神の義によって私たちは悪から救われる。神は神に頼る者を正しいとみなし、お救いくださるからである。私たちもこの義に触れ、義なる者とされていくのである。

●賛美／247 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第113編3節「日の昇る所から日の沈む所まで主の名は賛美される。」◆東から西までというよりも、すべての世界で主の御名はほめたたえられなければならない。私たちは「神を思う思い」を与えられた。だから、どんな人間も「神」を求める心は持っている。ところが、聖書の神を知らないから、いろいろなものを神にして、その拝む気持ちを傾ける。みな「神」を信じる姿勢はあるのだ。だからこそ、私たちはその人たちに真の神を知らせなければならない。どんな方法をもって、真の神をほめたたえさせなければならない。

●賛美／248 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第114編1～2節「イスラエルがエジプトから ヤコブの家が言葉の違う民の中から出たとき ユダは主の聖所となり イスラエルは主の治めるところとなった。」◆ユダヤの民たちが新年を迎えて最初に行うことは、「悔い改め」である。「大贖罪日」という。日本では大晦日で「みそぎがすんだ」と思いしまい、自分の罪を忘れたように一年を始める。神に自分の罪、高ぶりを示された時、へりくだることこそ大事である。罪の奴隷（エジプト）から逃れた私たちは、神に属しているものであることを常に覚え、そしてただへりくだって神に仕えるべきである。

●賛美／249 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第115編18節「私たちこそ、主をたたえよう 今より、とこしえに。ハレルヤ。」◆一日が終わり、新しい一日が始まる。すべてが一新され、解決されていれば良いが、そうではない。変わらない現実、そしてさらに新たに問題が起こる。だが悲観してはならない。だからこそ、このような一日の始まりだからこそ、主をほめたたえる心を持たなければならない。今の苦しみは人間の視点によるものだ。神の視点を持った時、私たちの現実の苦しみではなく、希望、感謝へと変わっていく。だからこそ、とこしえに主をほめたたえるべきなのだ。

●賛美／250 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしょ

●きょうのせいしょ

【しとげんこうろく 16:1～5、テモテニ 3:10～4:5】

「でしとなったテモテ」

(テモテニ 4:2)

パウロは アジアのまちを めぐって、イエスさまをつたえていきました。いくつものまちを たずねているのですが、そのひとつ、リストラ というまちで、わかい クリスマンに であいました。おかあさんは ユダヤじんですが、おとうさんは ギリシアじんでした。パウロは テモテをつれていけば やくにたつとかがえ、テモテをつれて ギリシアへとむかっていったのでした。

さて、テモテは そのご パウロとともに おおくのまちに いき、ふくいんをつたえました。テモテも いっしょをうけんめいに ふくいんをつたえたのですが、それだけではなく、あるときから、ひとつのきょうかいにとどまり、イエスさまのおはなしをするだけでなく、そのきょうかいをしどうたり、しんじゃのひとたちの

おせわをする、いまでいう きょうかいの ぼくしせんせい になるよう、パウロから いわれました。

テモテが はたらいたのは、エフェソでした。このまちには おおくの しんじゃが いただけではなく、ちかくの まちの きょうかいも おせわをすることがおおく、とても いそがしい はたらきを まかせられたのでした。

ひとが おおぜいいると、それだけ たくさんの もんだいも おこります。テモテは すこしもちのよわい ところがあって、いろいろなことを いわれると ころろがくるしくなり、つかれてしまいます。パウロは そんな せいかくを していましたから、テモテに たびたび てがみをおくって、はげしました。「わかいからといって、それをいいわけにせず、しんじゃのものはんになりなさい」「からだがつかれたときには、すこしやすみなさい」などですが、いちばんたいせつなこととして、おしえられたのは、「どんなときにも ふくいんをつたえなさい」でした。

●かんがえてみよう

☆テモテは なんていう まちで パウロと であいましたか。(しとげんこうろく 16:1)

☆パウロは テモテに どのようなことを すすすめていますか。(テモテへのてがみ 2:4:2)

☆パウロは テモテに せいしょが どのような しょもつであると おしえていますか。(テモテへのてがみ 2:3:16)



なむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

みことばをつたえよ

	ば		つ	よ			と	え
た	よ					と	つ	を
						ば	こ	
つ	み	こ	よ				ば	た
		ば	み				え	と
と	え			を	ば	み	つ	こ
								つ
		み	と	ば	つ	え		を
え	つ	た	こ		を	と	よ	

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① ふせんくいんきょう
- ② つばくりなし
- ③ うしこん
- ④ たいにん

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「国旗損壊」

安倍晋三元首相が祖父の岸信介元首相の孫であり、その危険な右翼思想をも受け継いでいた人物であることを申し上げたことがあります。統一教会も岸信介が擁護し、選挙運動に大いに利用していたわけで、こんなことを言ったら申し訳ないのですが、自業自得だったと思います。さて、この安倍を慕い、安倍の路線を踏襲しているのが高市首相です。

今回、日本の国旗を傷つける行為を罰する「国旗損壊罪（国旗損壊処罰法）」が7月17日に成立

しました。「人に著しく不快または嫌悪の情を催させる方法で公然と国旗を損壊・除去・汚損した者」に2年以下の拘禁刑または20万円以下の罰金が科せられます。なんとも右翼らしい法律です。

この法律に抵触する行為について非常に曖昧です。「深いまた嫌悪の情を催す」とは、破り捨てたり、燃やしたりならばまだしも、「無視する」ことも嫌悪であると判断される可能性があります。つまり、無限に拡大解釈できるのです。私は学校行事であっても、国歌斉唱の時には起立しませんし、国旗にも礼をしません。戦時中の思想弾圧はそこから始まっているからです。この行為を嫌悪とし、「国旗損壊罪」に問われる可能性はある。右傾化に気をつけなければなりません。

聖書ふれあい街歩き

●アッシリアの来襲 3

エルサレムと目と鼻の先、ミクマスに「装備を配置」したアッシリアは、峠を越えて「ゲバ」に野営しました。イザヤの預言は、その進軍の早さを強調しています。神の裁きはすみやかにもたらされるのです。

装備の配置は後方支援、補給物資だとも考えられます。そして本体は峠を越え、ゲバまで進んで野営したわけです。アッシリアの遠征軍は少なくとも2～3万。ヒゼキヤ時代のセンナケリブのユダ侵攻（列王記下 19:35・BC701）の場合には18万5千人とありますので、大軍勢であったことは間違いありません。それだけの兵士が休める広大な平地はありませんから、エルサレムに通じる山道はアッシリアの兵士であふれかえっていたと見るべきです。数kmに及んでいた可能性もあるので、先頭がゲバについても後方部隊はミクマスを出たばかりといった状況だったでしょう。

サムエル記上 14:6 にもありますが、ミクマスにペリシテがあり、迎え撃つサウル軍はゲバにいて対峙しています。イスラエルが北からの敵に対し、迎え撃つための軍事拠点だったのです。そこまで侵攻されてしまったユダはあわてふためいたことでしょう。

ななめ聖書 先週のこたえ

れ	わ	る	に	て	た	べ	し	す
た	す	し	べ	る	れ	て	に	わ
て	に	べ	す	し	わ	れ	る	た
べ	た	て	る	す	に	し	わ	れ
し	れ	す	た	わ	べ	る	て	に
に	る	わ	し	れ	て	た	す	べ
す	し	た	れ	に	る	わ	べ	て
る	て	れ	わ	べ	す	に	た	し
わ	べ	に	て	た	し	す	れ	る

- ①あくぎょう
- ②ごまんまい
- ③しちにん
- ④てぬぐい

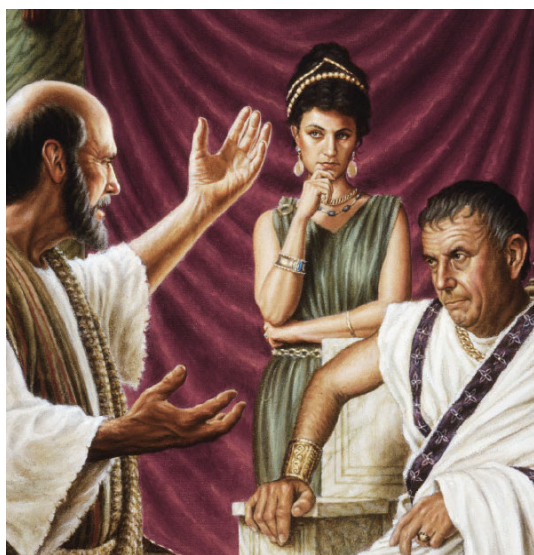


ローマに向かうパウロ

騎兵たちはカイサリアに到着すると、手紙を総督に届け、パウロを引き渡した。総督は手紙を読んでから、パウロにどの州の出身であるかを尋ね、キリキア州の出身だと分かると、「お前の告訴人たちが到着してから、尋問することにする」と言った。そして、ヘロデの官邸にパウロを留置しておくように命じた。

五日の後、大祭司アナニアは、長老数名とテルティロという弁護士を連れて下って来て、総督にパウロを訴え出た。パウロが呼び出されると、テルティロは告発を始めた。「フェリクス閣下、閣下のお陰で、私どもは十分に平和を享受しております。また、閣下のご高配によって、いろいろな改革がこの国で進められています。私どもは、あらゆる面で、至るところでこのことを認めて、心から感謝する次第です。

(使徒言行録23:33～35、24:1～3)



パウロとフェリクス

【フェリクスの対応】

手紙を読んだ総督は最初にパウロの出身州を尋ねています。キリキア州だと答えると、何かつっけんどんな態度を取り、「やっかいな案件だなあ」との気持ちを前面に出すような態度を取ったかのように受け取れます。

ただ、よく考えてみると、この確認は今後の事務手続きに必要な確認だったのかもしれませんが。というのも、フェリクスはユダヤ・サマリアを含むシリア属州の総督だったわけで、他の属州にはフェリクスの同僚が赴任していたわけです。もしここで、自分がこの事件に手を付けてしまった後、キリキア州の総督に越権行為であると文句を言われてしまうかもしれません。そのため法的な管轄権を確認し、自分がこの事件を自分が裁く権限を持っているかどうかを確かめる必要があったのです。それが「お前はどこの州の人間なのか」との問いでした。

また、「告訴人が来てから」の発言は、告発人がユダヤ人であると判明すれば、シリア総督である自分の管轄だから、自分の手で進めることができるとの判断材料となるからです。

そう考えると、冷たくあしらったのでも、引き延ばそうとしたのでもないことになります。となると、「ヘロデの官邸にパウロを留置」も、冷たく汚い牢屋であったというイメージではなくなります。実際に、ヘロデ大王が建てたカイサリアの官邸には身分の高い囚人を収容する施設もあったようです。VIPの扱いでなかったにしろ、ローマ市民ですから、どこかの酔っ払いが一時ぶちこまれるような豚小屋に、ではなく、安全を確保できる場所で人並みに扱われていたはずですよ。

「到着してから、尋問することにする」も、その流れからすると素っ気ない言い方ではなかったかもしれません。新改訳では「あなたを訴える者が来てから、よく聞くことにしよう」と訳されていますが、原文を調べてみると、「あなたの訴えを正式に審理しよう」という意味であることがわかりました。

ピラトの例もあり、ローマ総督にはあまり良い印象がありませんが、ここまでの事務処理は通常のものであり、ローマ総督として当然とも言うべき事務的、法的な対応だったと言えます。

【大祭司アナニア】

大祭司について確認をしておきます。主イエスが十字架にかけられた時の大祭司はアンナスとカイアファ。大祭司は普通一人なのですが、二人なのはわけがありました。実際にはアンナスの娘婿、カイアファが大祭司だったのですが、アンナスが暗然とした影響力を持ち続けていた、そのためです。天皇と上皇の関係に似ています。

カイアファはAD18～36年頃、アナニアはAD47～58年頃に大祭司を務めたと考えられています。主イエスの十字架(AD30年頃)からパウロの裁判(AD57年頃)まで、アンナス→娘婿カイアファ→ヨナタン(アンナスの子)→アナニアと交代がありました。大祭司は本来終身なのですが、このように異例の二人体制や頻繁交代があったのは、ローマ総督や王によって任命や罷免が繰り返されたからだと考えられます。ローマ当局はユダヤを統治しやすくするため、大祭司を政治的に任命、解任していたのです。先頭に立ってカイサリアに来たのも、当時の祭司階級が政治的権力と深く結びついていたことを反映している証拠です。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えます。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかれた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日からの最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦

牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

